

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)  
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

## 記

1. 講師 京都大学医学部附属病院 放射線治療科 特定准教授  
原田 浩 先生
2. 演題 「Warburg 効果 (がん細胞の好氣的解糖) —温故知新」
3. 日時 平成26年11月20日 (木)  
18時00分 ~ 20時00分
4. 場所 M&D タワー 2階 共同講義室 1
5. 内容

ドイツの生理学者 Otto Warburg は、がん細胞が酸素存在下であっても解糖系を通して ATP を産生していること (Warburg 効果) を報告した。1分子の glucose から得られる ATP 数という指標では、解糖系は極めて非効率的であるが、Warburg 効果にはがん細胞の増殖や治療抵抗性を支える大きな意味が隠されていることが明らかになってきた。本講義では、我々が見出した新規遺伝子ネットワークの機能も交えて、Warburg 効果の持つ真の意味をリファインしたい。

連絡先：三浦 雅彦 (口腔放射線腫瘍学分野 内線 5897)